

福祉サービス第三者評価結果（総括表）

①第三者評価機関名

| |
|--------------------|
| 一般社団法人いばらき社会福祉サポート |
|--------------------|

②施設・事業所情報

| | | | |
|----------------------------|-----------------|--|-------------------|
| 名称：障がい者サポートセンターなの花 | | 種別：生活介護・短期入所 | |
| 代表者氏名：岡野益寿美 | | 定員（利用人数）： 20名 | |
| 所在地：ひたちなか市馬渡385-3 | | | |
| TEL：029-212-7087 | | ホームページ http://www.yuuseikai.jp/nanohana/ | |
| 【施設・事業所の概要】 | | | |
| 開設年月日 平成28年6月1日 | | | |
| 経営法人・設置法人（法人名等）：社会福祉法人 勇成会 | | | |
| 職員数 | 常勤職員： 17名 | 非常勤職員： | 8名 |
| 専門職員 | サービス管理責任者 1名 | 医師（嘱託） | 1名 |
| | 看護師 1名 | 理学療法士 | 2名 |
| | 生活支援員 14名 | 生活支援員 | 4名 |
| | 事務員 1名 | 事務員 | 1名 |
| 施設・設備の概要 | （居室数）8室 | | （設備等）入浴設備 |
| | （一人部屋4室・2人部屋4室） | | 機械浴層・チェアインバス・一般浴槽 |

③理念・基本方針

| |
|---|
| 法人理念である「一人一人の人生を価値あるものにしたい」を根底に、利用者の自己選択及び自己決定を尊重した支援に努めます。 |
|---|

④施設・事業所の特徴的な取組

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・在宅生活の継続ができる様、生活介護事業と短期入所事業を行っております。その中で、プライベート支援に着目し、遠方への受診・趣味の為の外出・官公庁への手続き等、本人・家族だけでは困難な支援を有料ではありませんがお手伝いしています。 ・地域の中での生活を大切にするために、近隣に散歩や買い物等に出かけるようにしています。 |
|---|

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| 評価実施期間 | 令和2年10月1日（契約日）～ 令和3年3月31日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 1回（初回） |

⑥総評

◇特に評価の高い点

法人と協力して人材確保に努め、専門職の配置についても意識して取り組んでいます。職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい職場づくりに努めています。

職員は利用者の権利についての研修を実施するなどして利用者の尊重と権利擁護について十分に承知しており、利用者の自己決定の尊重やエンパワメントの理念に基づく支援をしています。

「利用者に満足して帰って貰えるよう」「利用者に事業所のサービスを希望して貰えるよう」サービスの向上に組織的に取り組む意欲を持ち、その取り組みに個別支援力を発揮しています。介護マニュアルを基本に利用者に統一したサービスが提供できるよう、職員の体制や配置等についても職員の意見を聞きながら、サービスの質の向上に意欲を持ち取り組んでいます。

利用者一人ひとりへの配慮の下でプライベート支援など要望・必要に応じて個別支援への取り組みを行っています。プライベート支援を利用して利用者本人が役所での手続きを行ったり買い物を行ったりする事を可能にし、より充実した自律・自立した暮らしが出来るような支援をしています。

連絡帳や電話、自宅に出向く等して家族と情報を共有しながら、利用者自らの行動を見守り・声かけ・手伝いを行っています。

創作活動や映画鑑賞、音楽リハビリなど豊富な日中活動を予定表にしてそれぞれに渡し、利用日の選択ができるようにしています。さらに地域で開催するスポーツ大会や近くの施設の「秋まつり」等への参加を支援する等それぞれの個別支援計画に基づいて充実した日中活動への支援が行われています。

利用者一人ひとりの個別支援計画の基で、様々に工夫された体操や書道、ぬり絵などを通しての生活訓練はもとより、理学療法士の指導を受けながらの機能訓練を実施しています。支援計画に基づいて利用者と一緒に定期的なモニタリングを実施し、支援の検討・見直しを行っています。

◇改善を求められる点

全体にふりがなが振られるなどわかりやすさに配慮された事業計画について、利用者のみならず家族への周知が一層進むことを期待します。

利用者の安心・安全のため、管理者不在時の権限委任について明確化できる体制を整えることを期待します。

福祉サービスの利用が終了した後も利用者や家族が相談できる担当者や窓口を明確にして、終了後に文書にして渡せるような取り組みに期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審に対し、当初は「第三者に評価される」ことに大きな不安を感じていました。しかし、当方の自己評価に対し、面談の際に、当方が気づいていない当方の良さを探したださっていることに気づかせていただきました。

評価結果を真摯に受け止め、今後のサービス向上に生かしてまいりたいと思います

一つ気になったことがありましたので、コメントさせていただきます。

評価基準が入所事業を意識した内容になっているように感じました。

その為、回答に悩む箇所がありました。

様々な事業運営を行う通所事業所が増えている現状を鑑み、通所事業のシステム等をご理解いただいた評価になると良いと思いました。

第三者評価事業が広まりますことを祈念いたします。

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）